

2019年 11月 15日

三田市長

森 哲 男 様

全日本年金者組合三田支部

支部長 

市政運営にご精励のことに敬意を表します。

私たちは、高齢者が安心して日々の生活が送れる社会の実現と、各種の交流事業を通じて楽しく元気の出る活動を続けている組織です。

しかし、安倍政権のもとで、医療・介護制度などが次々改悪され、国保や介護保険(税)や利用料の負担増、年金額の引き下げ、さらに本年10月からは消費税が10%へ引き上げられるなど年金受給者の生活は大変厳しい状況に置かれています。

こうした時こそ、貴職が「地方公共の秩序を維持し、住民及び滞在者の安全、健康及び福祉を保持すること」と地方自治法に定められた役割を果たされることがますます求められています。

つきましては、私たちの組合員から寄せられた「三田市への要望」を以下の通りまとめ、要望いたしますのでご検討の上誠意あるご回答をお願いいたします。

要 望 事 項

1) 市民生活保護を優先する市政に転換を

- ①決算時における剰余金について、市長の「将来の人口減に備えた備蓄」との発想は、現に厳しい生活を強いられている市民生活を無視した発言であり、全く理解できない。「将来」ではなく今の市民生活の向上にこそ生かすべきである。

2) 三田市民病院を公立として存続し医療体制の充実を図ること

- ①市民病院の「統廃合」や「民営化」を行わず、現在地で市立病院として存続し、夜間の小児救急医療体制の充実や待ち時間の短縮など患者の立場に立った改善を図ること。

3) 国保税の負担軽減措置を早急に講じること

- ①国に対し、制度改正と国庫負担増を求め、被保険者の世帯人数が多い世帯や低所得世帯ほど負担の重い「均等割」「平等割」を廃止し、国保税の負担軽減を図ること。
- ②市独自の減免制度を所得の激減「5割」から「3割」に拡大するなど制度の充実を図ること。

4) 介護制度の改善・充実と高齢者福祉対策を急ぐこと

- ①基金等を活用し、介護保険料の負担軽減を図ること。
- ②必要な介護や支援が受けられるよう市独自の支援策を講じること。
- ③深刻な老老介護の実態を把握し、負担軽減策を講じること。

5) 水道料金を引き下げること

- ①水道料金の値上げは絶対に行わないこと。
- ②水道料金の基本料金を「5立米」に見直し、少量利用者の負担を軽減すること。

6) 高齢者および交通弱者対策を強化すること

- ①高齢者の外出を支援するため、優れた先進地の経験を活かし「コミュニティバス」を早急に導入すること。
- ②「高齢者交通費助成」の助成額を大幅に増額すること。また、JRへの利用拡大を可能にすること。また、ガソリン券など利用しやすい制度に充実すること。
- ③新三田駅にエスカレータを設置するようJRに求めること。また、広野駅入口にスロープを設置すること。

7) 高齢者の交流とゴミ出しなどに支援策を

- ①敬老会への助成制度を復活すること。
- ②「ゴミ出し困難世帯」への戸別収集を実施すること。
- ③加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を創設すること。

以上